

I ふるさとの自然を愛し住みよい環境をつくるまちづくり

1 自然環境

新エネルギー導入促進 9,171万円

(担当：地域振興課 地域振興係)

地球温暖化防止へ寄与する、クリーンなエネルギーの導入を推進することにより、電気、住宅、素材、燃料などの幅広い産業部門において新規市場や雇用の創出効果に取り組みます。また、公共施設への木質バイオマスボイラーの設置により、森林資源の有効活用や、公益的機能の増進を図ります。

■主な経費

住宅用太陽光発電設備導入補助金	150万円
住宅用エコ給湯機器導入補助金	50万円
木質ボイラー施設整備費	8,500万円
新エネルギービジョン策定費	471万円

財源

国等の補助金	4,700万円
町の負担額	4,471万円

河川の環境整備 1,058万円

(担当:建設課 管理係)

町内の河川の草刈りや堆積土砂を取除くなど河川の環境整備をします。

■主な経費

河川愛護団や業者に委託	809万円
堆積土砂の取除き工事費	249万円

財源

県の負担額	529万円
町の負担額	529万円

土地開発の事前審査や規制

(担当：関係各課)

【開発行為の事前審査】

津和野町で、建物の建設や分譲などを行う目的で 10,000 m²以上（景観地区内は 3,000 m²）の土地に対して「開発行為」を行う場合は、都市計画法により、島根県知事の許可が必要ですので、事前にご相談ください。・・・・・・（担当：営業課）

【土地開発の規制など】

- 農用地・農業振興地域等に関する規制・・・・（担当：農林課農業振興係・農業委員会）
- 森林伐採等に関する規制・・・・・・（担当：農林課林業振興係）
- 自然公園等に関する規制・・・・・・（担当：商工観光課景観対策係）
- 河川・道路に関する規制・・・・・・（担当：建設課管理係）
- 都市計画区域内の規制・・・・・・（担当：建設課管理係）
- 埋蔵文化財包蔵地に関する規制・・・・・・（担当：教育委員会文化財係）

I ふるさとの自然を愛し住みよい環境をつくるまちづくり

2 町並みの整備

都市計画

114万円

(担当:建設課 管理係)

高崎亀井邸跡児童公園の借上げ料や維持管理費、都市計画道路などの計画立案等に支出します。

■主な事業

新都市計画図印刷	30万円
児童公園賃借料	84万円

財源

町の負担額 114万円



殿町通り

I ふるさとの自然を愛し住みよい環境をつくるまちづくり

3 公園と緑地

日原カントリーパークの管理

234万円

(担当:建設課 管理係)

日原カントリーパークの維持管理委託をします。

■主な事業

カントリーパークの維持管理委託料	180万円
カントリーパーク内浄化槽保守点検委託料	54万円

財源

町の負担額 234万円



堤田農村公園の管理

10万円

(担当:農林課 農業係)

県営中山間地域総合整備事業により平成18年度に完成した堤田農村公園の維持管理を地元自治会へ委託します。

鳥根県指定天然記念物「大元神社跡の樟」に隣接し、バイオトイレ、駐車場、東屋、ヤギ舎が整備されています。

■主な事業

農村公園の維持管理委託料	0万円
(※堤田自治会においてトイレの清掃を含め無償で管理)	
公園内バイオトイレの浄化槽保守点検委託料	6万円
電気料・水道料	4万円

財源

町の負担額 10万円



I ふるさとの自然を愛し住みよい環境をつくるまちづくり

4 環境衛生

下水道運営事業

59万円

(担当：環境生活課 下水道係)

下水道事業を運営していくために必要な経費です。事業に必要な事務経費や下水道利子補給金などが含まれます。

■主な経費

下水道事業事務経費	49万円
下水道利子補給金	10万円

財源

下水道料金	59万円
-------	------

下水道施設維持管理事業

2,886万円

(担当：環境生活課 下水道係)

家庭や工場から排出された汚水は、道路などの地下に埋設された下水管を流れ、下水道処理場に送られます。処理場に集められた汚水は、微生物の働きによって基準値以下に浄化された後、滅菌消毒をして河川へ放流されます。また、汚水処理の過程で発生する汚泥は、濃縮や脱水した後セメント工場に運搬し、セメントの原料として再利用する計画です。

■主な経費

管渠の維持管理費	731万円
処理場の維持管理費	2,155万円

財源

下水道料金	2,886万円
-------	---------

下水道施設整備事業

1億15万円

(担当：環境生活課 下水道係)

公共用水域等の水質保全のため、現在森村地区において下水道整備を進めています。今年度末には約100世帯が供用開始となる予定です。

■主な事業

●効率的な事業実施のための計画策定業務

業務場所：津和野町森村地内外

実施予定工期：5月下旬～2月下旬

●下水道現場技術業務

業務場所：津和野町森村地内

実施予定工期：6月下旬～3月下旬

●森村地区枝線管渠工事

工事場所：津和野町森村地内

工事内容：VUφ150～250布設 L=1,400m

実施予定時期：6月下旬～3月下旬

財源

国の補助金	3,470万円
受益者負担金	15万円
町の負担額	580万円
町の借金	5,950万円

下水道施設建設費等償還金（借金の返済）

1億6,740万円

(担当：環境生活課 下水道係)

下水道管や下水道終末処理場を建設するために借りたお金を返済します。返済金の一部は、国から補てんされます。

■主な経費

借金の返済金	1億6,740万円
--------	-----------

財源

国からの交付額	8,454万円	受益者負担金	438万円
下水道料金	248万円	町の負担額	7,600万円

農業集落排水事業

530万円

(担当：環境生活課 下水係)

○農業集落排水施設の維持管理

農業集落排水施設は、津和野町和田地区に設置され、現在維持管理されています。また、この地区の各家庭から出た汚水は、鹿足郡環境衛生組合で処理されます。

○農業集落排水事業施設建設等償還金

農業集落排水施設を建設するために借りたお金を返済します。償還金には、使用料及び町からの負担金の一部が充てられます。

■主な経費

マンホールポンプ所電気料・電話料	27万円
施設管理委託料	57万円
汚泥処理委託料	44万円
借金の返済金（元利）	402万円

財源

使用料	69万円
町の負担額	461万円

し尿処理（汲み取り）事業

9,589万円

(担当：環境生活課 衛生係)

一般家庭のし尿の収集は、許可業者が各地域ごとの収集計画に基づいて実施しています。

また、し尿の収集は、町が電話などで受け付けし、益田市衛生公社へ連絡を行います。

■受付先

環境生活課 Tel.72-0309

鹿足郡内のし尿と浄化槽汚泥の処理は、鹿足郡環境衛生組合が一括して行っており、この運営費は、収集手数料と吉賀町、津和野町からの負担金により賄われています。

■主な経費

鹿足郡環境衛生組合負担金 9,589万円

財源

町の負担額	9,589万円
-------	---------

再資源化等推進事業

394万円

(担当：環境生活課 衛生係)

古紙等資源ごみの拠点回収を婦人会や自治会などの推進団体が主体となって行っています。限りある資源を有効利用し、ごみの排出量を削減するためにも徹底した分別と排出ルールを守ることが必要です。

また、生ごみの減量化を図るために生ごみ処理機の購入費の補助も行っています。

■主な経費

古紙回収委託料	302万円
古紙リサイクル補助金	82万円
生ごみ処理容器設置補助金	10万円

財源

町の負担額	394万円
-------	-------

ごみ収集事業

5,326万円

(担当：環境生活課 衛生係)

可燃ごみ、資源ごみ（容器包装プラスチック、商品プラスチック、缶・鉄、びん）と粗大ごみなどの一般廃棄物を円滑に収集します。ごみの減量化や効率的な収集運搬を行うためにも、ごみの分別を徹底し排出ルールを守ること大切ですが、ごみになるものや使い捨てのものを買わないなど、ごみの減量化を推進するために一人ひとりができる事を実践することが重要です。

また、各地区においてごみステーションなどを設置し、日常管理をお願いしています。収集日の除雪や清掃など、適切な維持管理に努めるようご協力をお願いします。

□ ごみの出し方や分別方法は、別紙「ごみの分け方・出し方の手引書」をご覧ください。

■主な経費

町指定袋購入費	472万円
ごみカレンダー等印刷製本費	177万円
町指定袋販売手数料	149万円
塵芥収集処理業務委託料	4,435万円
ごみステーション等設置補助金	93万円

財源

ごみ処理手数料 (町指定袋の販売収入など)	1,719万円
一般廃棄物処理許可申請手数料	4万円
町の負担額	3,603万円

廃棄物広域処理事業

1億3,110万円

(担当：環境生活課 衛生係)

ごみの広域処理は、益田市・津和野町・吉賀町の1市2町で構成される益田地区広域市町村圏事務組合及び津和野町・吉賀町の2町で構成される鹿足郡不燃物処理組合で行っています。

可燃ごみは、益田市の益田地区広域クリーンセンターで焼却しており、そこで出た焼却灰は再度高熱で処理し建設資材等に再利用することで最終処分場の延命化を図っています。

資源ごみは、吉賀町の鹿足郡リサイクルプラザで選別、梱包の中間処理を行い、各々リサイクル処理業者へ運搬し再商品化されます。粗大ごみについても、リサイクルプラザで細かく破碎後、資源ごみと分別し、可燃性のは焼却場の燃料として利用しています、どうしてもリサイクルできないものは、施設内の最終処理場で埋め立て処分します。

■主な経費

益田地区広域市町村圏事務組合負担金	7,601万円
鹿足郡不燃物処理組合負担金	5,509万円

財源

町の負担額	1億3,110万円
-------	-----------

公害対策事業

23万円

(担当：環境生活課 衛生係)

笹ヶ谷鉱害防止工事跡地(8ヶ所)の維持管理として、1ヶ所を2,3年に1回の頻度で草刈や伐採作業を業者に委託して行っています。また、公害認定患者の定期健康診断を県が年2回実施しています。

■主な経費

委員報酬等	8万円
鉱害防止工事跡地草刈等委託料	10万円
公害患者扶助費	5万円

財源

町の負担額	23万円
-------	------

斎場維持管理事業

1,692万円

(担当：環境生活課 衛生係)

町では、火葬業務の円滑な運営と適切な維持管理に努めます。

■主な経費

斎場維持管理事務費	67万円
燃料・光熱水費	211万円
斎場管理業務委託料	808万円
清掃・浄化槽管理等委託料	162万円
火葬炉修繕工事費	444万円

財源

斎場使用料	339万円
自動販売機手数料	3万円
町の負担額	1,350万円

(担当：環境生活課 衛生係)

○狂犬病予防対策

犬を飼育する人の中には、一部の無責任な飼い主のため、他人に迷惑をかけたたり、人に危害を加えたりすることがあります。飼い主は、責任を持って適切な飼育をしましょう。

また、犬を飼育する場合は、生涯1回の登録と毎年1回の狂犬病予防注射を行うことが義務付けられています。

○合併処理浄化槽整備対策

合併処理浄化槽は、トイレや台所、風呂などの排水を敷地内で処理する設備のことです。

町では水質汚濁を防止し、生活環境を守り、公衆衛生を向上させるため浄化槽の設置費の一部を補助します。

○環境保全対策

町民、事業者、行政が協働して地球環境の保全を図るため、地球温暖化防止対策地域協議会や水をきれいにする町民運動推進協議会を設置し、活動費として補助金を交付しています。

■主な経費

狂犬病予防注射等事務費	6万円
合併浄化槽設置補助金	530万円
島根県浄化槽普及管理センター負担金	1万円
公衆トイレ管理委託料	13万円
地球温暖化防止対策推進事業補助費	36万円
水をきれいにする町民運動補助金	14万円

財源

犬の登録手数料	27万円
狂犬病予防注射票交付手数料	12万円
汚水処理施設整備交付金	153万円
浄化槽清掃業許可手数料	1万円
町の負担額	384万円
しまね自然と環境財団補助金	23万円

I ふるさとの自然を愛し住みよい環境をつくるまちづくり

5 道路と交通

道路橋梁等管理事業 1,594万円

(担当:建設課 公共土木係)

道路台帳の整備や県営工事に対する負担金等へ支出します。

■主な経費

道路台帳整備委託料	360万円
県道柿木津和野停車場線に係る町道野坂線の用地購入費	159万円
県営工事負担金	1,075万円
県道津和野田万川線・柿木津和野停車場線改良工事	
県道津和野萩線・匹見左鉦線県単舗装工事	
急傾斜地崩壊対策工事(枕瀬東・笹ヶ峠・扇町地区)	

財源

国県の補助金	159万円
町の借金	980万円
町の負担額	455万円

道路維持管理・除雪委託事業 1,449万円

(担当:建設課 公共土木係)

町道の通年維持管理のための道路維持業務、道路愛護団や除雪作業委託料として支出します。

財源

町の負担額	1,449万円
-------	---------

道路維持工事 2,000万円

(担当:建設課 公共土木係)

舗装の修繕や側溝等の補修等、町道の通年維持管理や舗装の新設(鹿谷線・後畑線)のための工事費です。

財源

町の負担額	2,000万円
-------	---------

道路新設改良工事 2億2,155万円

(担当:建設課 公共土木係)

町道の改良や新しい町道を作る(町道笹ヶ谷線・野広線・木毛線・日原添谷線・高嶺線・平台線)ための経費です。

■主な経費

工事のための測量委託料	2,550万円
工事請負費	1億8,445万円
工事に必要な土地を買う公有財産購入費	370万円
工事に支障のある電柱や建物等の補償、補填及び賠償金	790万円

財源

国県の補助金	9,900万円
町の借金	1億2,050万円
町の負担額	205万円

林道管理委託事業 176万円

(担当：建設課 管理係)

林道安蔵寺山線・笹山山入線の維持管理のために草刈等を委託します。

財源

町の負担額 176万円

県営林道事業負担金等 3,772万円

(担当建設課 管理係)

大規模林道賦課金として1232万円、県営林道事業（林道耕田内美線・三子山線）の事業負担金として県へ支払います。

財源

町の借金 2,280万円

町の負担額 1,492万円

県営林道新設改良事業 401万円

(担当：建設課 農林土木係)

県が施行する林道新設改良工事（笹山山入線・耕田内美線・三子山線）がスムーズに進められるために登記事務、補償等に支出します。

財源

国県の補助金 220万円

町の負担額 181万円

交通安全対策費 68万円

(担当：総務財政課)

町内の学校、公民館、事業所等の団体や、町より委嘱しております「交通安全指導員」により構成する「津和野町交通安全推進協議会」を中心に、多くの町民のみなさんが参加される交通安全啓発活動等の事業費です。

また、交通安全の推進の為、様々な活動を行っておられる「交通安全母の会」への活動補助金や、安全運転管理者協会への負担金などがあります。

■主な経費

交通安全事業費 56万円

交通安全母の会補助金 6万円

安全運転管理者協会負担金 6万円

財源

町の負担額 68万円

生活バス対策費 9,359万円

(担当：地域振興課地域振興係)

高齢化や、老人世帯の増加によって、車を運転しない方にとっては、通院・買物など町内での移動手段の確保は重要な課題です。現在は、町営バスの運行と、民間バス事業者の赤字路線の補填を行っていますが、今年度は、既に決定している来年度以降の民間バス事業者の町内路線撤退を踏まえて、新たな本町の交通体系と、町営バスによる運行システムの構築や車両の確保に取り組めます。

■主な経費

生活バス確保路線補助金 2,287万円

町営バス運行业務委託料 3,772万円

コミュニティ交通整備事業費 3,300万円

※民間路線バスの赤字額の約5割を補助します。

※日原地域4系統、津和野地域2系統の運行経費です。

※内訳は、マイクロバス・ワゴン車などの車両購入費、車庫・バス停の建設費、設計管理費、運行計画策定費です。

財源

町営バス運賃収入 250万円

国の補助金 1,950万円

県の補助金 536万円

町の負担額 6,623万円

I ふるさとの自然を愛し住みよい環境をつくるまちづくり

6 消防・防災・国民保護

消防・防災体制の充実

3億6,729万円

(担当：総務財政課)

消防関連経費については、主に消防団の運営経費及び消防設備の維持管理経費ですが、今年度は、日原地区消防センター（仮称）の建設費及び水槽付ポンプ車の購入費を計上しています。

防災関連経費については、主に、自主防災組織の備蓄物資や新型インフルエンザ対策の経費です。

■主な経費

消防団員人件費	1,815万円
消防団員出動手当	672万円
水槽付ポンプ車購入費	2,500万円
日原地区消防センター建設設計監理委託料	400万円
日原地区消防センター建設工事費	9,050万円
新型インフルエンザ対策経費	10万円
自主防災組織 災害備蓄物資	30万円
総合防災情報システム管理運営負担金	95万円
広域市町村圏事務組合消防費負担金	21,136万円
その他経費	1,021万円

財源

町の負担額 3億6,729万円



出初式



津和野町地区消防センター（平成20年度）

防犯灯維持管理

459万円

(担当課 総務財政課)

町が保有する防犯灯に必要な電気料と修繕費と新たに設置する費用です。

■主な経費

電気料	284万円
修繕費	144万円
新設費	31万円

財源

町の負担額 459万円

I ふるさとの自然を愛し住みよい環境をつくるまちづくり

7 住宅

住宅管理費 **623万円**

(担当：建設課 管理係)

町営住宅の維持管理に使います。

■主な経費

通常の維持修繕費 350万円

法心庵・鉄砲丁住宅の空家部分の解体費 273万円

財源

国の補助金 179万円

町の負担額 444万円

.....

■町営住宅入居の条件

- ・ 現に住宅に困窮していることが明らかな者であること。
- ・ 同居する親族が必要です。※単身入居が認められる場合もあります。
- ・ 所得の制限があります。

■申込み方法

入居者募集期間中に役場にある申込書に所要事項を記入し、住民票、所得証明書などを添付して建設課へ提出してください。

■入居者選考方法

申込み受付後に抽選をし、入居者を決定します。

.....

I ふるさとの自然を愛し住みよい環境をつくるまちづくり

8 生活用水

水道施設維持管理事業 3,414万円

(担当：環境生活課 上水道係)

住民の皆さんに安心して安全な水を供給するため、水道施設の保守点検や修繕、清掃などを適切に行います。水道の使用量の検針を行うために使用者の住宅等に取り付けてある水道メーターは、計量法により8年毎に計画的に交換を行います。

また、蛇口から行う浄水の基本項目検査（毎月1回）のほか、水源池の原水の検査（年1回）と浄水の検査（年4回）を行い、水道水の安全性を確認します。

■主な経費

水道施設維持管理経費	2,036万円
水道メーター取替え	291万円
水道水質検査業務	1,087万円

財源

水道料	3,414万円
-----	---------

水道施設建設等償還金（借金の返済） 1億8,151万円

(担当：環境生活課 上水道係)

配水池や水道管の敷設などの水道施設を建設するために借りたお金を返済します。

返済金の一部は、国から補てんされます。

■主な経費

借金の返済金	1億8,151万円
--------	-----------

財源

国からの交付額	6,404万円
水道料	6,923万円
町の負担金	4,824万円

簡易水道配水管移設事業 2,214万円

(担当：環境生活課 上水道係)

道路改良工事や下水道工事を行うにあたり水道管が支障となるため、移設する工事です。

■主な事業

● 町道笹ヶ谷線道路改良工事に伴う配水管移設工事

工事場所：津和野町内美地内

工事距離：200m

工事予定時期：6月中旬～3月下旬

● 公共下水道工事に伴う配水管移設工事

工事場所：津和野町森村地内

工事距離：309m

工事予定時期：6月初旬～3月下旬

● 国道9号線路肩整備工事に伴う配水管移設工事

工事場所：津和野町森村地内

工事距離：123m

工事予定時期：7月中旬～8月下旬

財源

町からの補償費	70万円
下水道会計からの補償費	496万円
水道料	1,648万円

簡易水道統合整備事業

1,400万円

(担当：環境生活課 上水道係)

簡易水道事業の経営の効率性、経営基盤の強化等を目的として、平成28年度までに町内の水道事業を一つに統合していきます。

今年度は、津和野地区簡易水道や下高野簡易水道等を統合するための変更認可の申請を行います。

■主な事業

簡易水道統合整備事業に伴う変更認可業務委託料

業務委託予定時期：5月下旬～3月下旬

財源

水道料 1,400万円

簡易水道施設改修事業

730万円

(担当：環境生活課 上水道係)

安心で安全な水を継続して供給するために、監視システムの改修、また、新しく異常通報装置、水道滅菌機を取り付ける工事です。

■主な事業

●配水池水位計異常通報装置設置工事

工事場所：下高野簡易水道配水池・加圧ポンプ所

工事予定時期：5月下旬～9月下旬

●配水池監視システム改修工事

工事場所：日原地区簡易水道配水池

工事予定時期：7月初旬～9月下旬

●水道施設滅菌室空調設備工事

工事場所：日原地区簡易水道・津和野地区簡易水道浄水場

工事予定時期：6月初旬～8月下旬

●水道滅菌機取付工事

工事場所：津和野地区簡易水道浄水場

工事予定時期：5月下旬～7月下旬

財源

水道料 730万円

簡易水道事業運営経費

1,694万円

(担当：環境生活課 上水道係)

簡易水道事業を運営するために必要な経費です。事業に必要な事務経費や水道料金の消費税納税額などが含まれます。

■主な経費

水道事業事務経費 944万円

消費税納税額 750万円



中曽野簡易水道 吹野地区配水池 (H19年度完成)

財源

水道料 1,694万円

I ふるさとの自然を愛し住みよい環境をつくるまちづくり

9 地籍調査

地籍調査事業 **4, 888万円**

(担当:建設課 地籍調査係)

地籍調査を進めるために調査や測量委託等に支出します。

■主な経費

測量業務委託料（鹿谷・柳村・溪村・長福・豊稼地区）	3, 334万円
一筆地調査委託料（鹿谷・柳村・豊稼地区）	1, 312万円
境界伐開業務委託料（鹿谷・柳村・豊稼地区）	231万円
誤謬訂正委託料	10万円

財 源

国県の補助金	3, 666万円
町の負担額	1, 222万円